

《News》

滞在型結婚式を提案開始

Share Clapping

尾道の旅館と提携し企画

ウェディングプロデュースのShare Clapping (広島市中区)は7月7日、広島県尾道市の『Ryokan尾道西山』と提携し、1泊2日の滞在型結婚式【祝泊結婚式】を提供すると発表した。式前後の時間も通じ、親しい人

へ感謝を伝える機会を提供する。昭和18年に創業した『西山別館』を改修し、2023年にオープンした同旅館。『祝泊結婚式』は、同館の離れ6棟8室を貸し切ることができる。庭園で人前式を実施し、披露宴ではオープンキ

とプロデュース料、10名分の宿泊料金などを含め、232万円〜。宿泊は最大31名まで対応できる。サブチーフプランナーの野村瞳氏と営業企画デザイナー山中愛氏



サブチーフプランナー 営業企画デザイナー
野村 瞳氏 山中 愛氏

愛氏は、「結婚式の需要や時代の変化も進む中、『こんな結婚式だったらやってみたい』と結婚式に価値を感じ、式を挙げるきっかけになれば嬉しい」と語る。



▲ゲストもそのまま宿泊できる

沖縄ビューティー&ブライダル専門学校

沖縄ビューティー&ブライダル専門学校(沖縄県那覇市)は7月30日、アイム・ユニバースでだこホールにおいて、[2025Li bre BEAUTY SHOW& BRIDAL COLLECTI ON]を実施した。

保護者や入学検討中の高校生、業界関係者を対象に、日頃の学習成果を披露するショーステージ。同時に、美容・ブライダル業界の魅力を伝えることも目的としている。ブライダル科、美容科など全5学科の2、3年生を中心に、企画立案

学びの成果を披露 コレクション開催



▲ステージでのドレスショー

からモデル、衣裳、ヘアメイク、演出までを手掛けた。

今年のテーマは、融合や調和を意味する『Unity』。各学科の持つスキルを掛け合わせ、1つのステージを創り上げたいという意気込みを込めた。

当日は美容系学科のヘアメイクショーのほか、ブライダル学科による約20スタイルを披露するドレスショーを実施。客席からモデルが登場するサブプライズ、うちわとペンライトでショーを盛り上げるなど、客席を巻き込む演出も盛り込んだ。

学生からは、「皆で協力しアイデアを出し合うことで、視野を広げられた」、「モデル、ステージ演出を考えてヘアメイクを工夫する楽しみを知れた」などの感想も聞かれた。「仲間と協力し、1つのものを創り上げる喜びを感じてくれたと思います。この経験は、今後の大きな力になると信じています。」(教員・呉屋倫子氏)

矢場味仙との コラボを発表

Plan・Do・See



▲台湾ミンチの「矢場リゾット」

Plan・Do・See (東京都港区)は10月1日、運営する名古屋のレストラン『ザ・コンダーハウス』において、愛知県を中心に展開する『矢場味仙』とのコラボメニューを販売開始する。期間は10月31日まで。

名古屋で長年愛されるローカルフード店とのコラボ。台湾ラーメンをはじめとする矢場味仙の代表メニューを同レストラン流にアレンジし、新しい名古屋の食体験を提供する。客層もカルチャーも異なる2店舗で、レストラン利用客も驚く「化学反応」を起こしていく。

矢場味仙特製の台湾ミンチを使った『矢場リゾット』(1400円)、『旨辛台湾肉の秋茄子詰め』(1200円)、『辣香味仙生春巻き』(1200円)など、全7種を用意。ザ・コンダーハウス自家製の胡麻だれとスープに、台湾ミンチなどを掛け合わせた『台湾×担々麺』(フル1600円/ハーフ800円)のみランチ・ディナー共に提供し、他メニューはディナータイムのみとしている。

チームふくしま

毎年恒例のひまわり畑でウェディング

NPO法人チームふくしま(福島県福島市)は8月15日、同県田村市の『福島ひまわり里親プロジェクト』によって咲き誇る満開のひまわり畑にて【ひまわり結婚式】を開催した。

東日本大震災、福島第一原発事故をきっかけに、同NPO法人が始めた復興支援プロジェクト。福島県のひまわりの種を全国の人に販売して『里親』として育ててもらい、そこで採れた種を再び福島に植え、県内各所で花を咲かせている。

田村市内のひまわり畑で



▲DAIさん夫婦が参加



マネージャー
山田沙也加氏

実施する公開挙式企画は、今年で13回目。今年は兵庫県から、復興支援ボランティアに取り組んできたミュージシャンのDAIさん夫婦が参加した。結婚から8年となる2人は、「続婚(ゾクコン)式」としてセレモニーを実施。地元住民やプロジェクト関係者など約100人が見守る中、地元の和太鼓奏者とのコラボパフォーマンスを披露した。夫婦と2人の子どもの4人家族で、これまでの感謝と「これからもよろしく」という想いを伝え合った。

「全国の福島ひまわり里親プロジェクトの参加者から届いた種から3万本以上の復興花ひまわりが咲く中、今年もウェディング企画を実施できました。福島県田村市の魅力を感じてもらえたら嬉しいです。」(マネージャー・山田沙也加氏)

エスクリ

エスクリ(東京都中央区)は8月1日、『ラソール ガーデン・名古屋』と『KIYOMIZU京都東山』および併設の京イタリアンフレンチレストラン『東山庭(Higashiyama Garden)』の運営をスタートした。

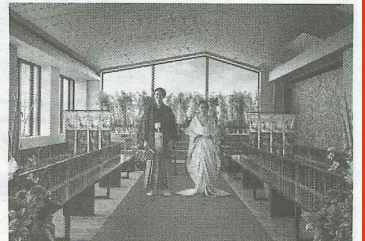
スタイルズ(東京都中央区)からの事業譲受による、店舗運営。両会場ともに原則スタッフは継続勤務し、成約済みカップルへのサービスもこれまで通り提供する。エスクリがこれまで培ってきたノウハウと各会場の

京都・名古屋の施設を運営開始

個性、立地特性を活かしながら、運営に取り組んでいく。

1チャペル3バンケットの『KIYOMIZU京都東山』と併設レストラン『東山庭』は、歴史と文化が息づく京都・東山エリアに位置。エスクリとしては初の京都進出で、関西主要3都市(大阪・神戸・京都)での展開が実現した形となった。

『ラソール ガーデン・名古屋』は1チャペル1バンケットで、リゾート感を兼ね備える邸宅ウ



▲スタイルズから事業譲受

エディング施設。名古屋では2つのビルイン型会場を運営しており、本件でエリア内初の独立型施設の展開となった。

まだ手はある!

単価UP

—プロダクト&テクニク—

第2回 スナップ写真



ウェディングプロデュース
営業部長
猪股 進氏

近年、スナップ写真の単価アップに貢献しているのは、フォトグラファの指名や「2カメ(フォトグラファ2名)」といった撮影そのものへの付加価値です。ある会場では「重視するのはアルバムか撮影か」を問いかけることによって指名受注率を高め、単価増に成功しています。

一方で「アルバムはいらない、データだけで良い」と考える新郎新婦が増えているのも事実。結婚式をゴールと捉え、限られた予算の中で「カタチ

より「データ」を選ぶ結果ともいえるでしょう。しかし私たちはプロとして、2人の未来を見据えた提案をする責任があります。そのためには「アルバム」と「データ」の決定的な違いを理解し、伝えることは不可欠です。

結婚式の日を記録したデータは大切な財産ですが、あくまで「情報」であり、時間が経つとアクセスしづらく、忘れ去られがちです。一方アルバムは、手に取って見返せる物理的な存在であり、ページをめくるたびに一日の感情

データだけでは得られないアルバムの価値

の蘇る「物語そのもの」で、世代を超えて残せる文化資産といえるでしょう。「データだけで良い」という声はデジタルネイティブ世代ならではの声ですが、大切な一枚は埋もれてしまいます。だからこそ厳選された写真を編んだアルバムは、電源不要でいつでも感動を蘇らせる存在感を放ちます。

さらにアルバムには、届くまでの「待ち遠しさ」のもたらす期待価値、手にした瞬間にあふれる感動価値、未来に振り返る「温かな時間」としての持続価値が備わっています。データでは決して代替できない、アルバムだけの持つ力です。両親や友人と囲んで思い出を語り合えば、絆を深めるきっかけにもなり、人生を豊かにします。

「データがあれば自分で作れる」という声はあっても、結婚式後の多忙な日

常の中で実際に形にすることは難しいはず。だからこそ、私たちの提供するアルバムにはプロとしてのこだわりが求められます。掲載写真のセレクト、ページ構成、印刷技術、紙質や色味など、データでは再現できないアルバムならではの表現を追求すること。さらに納品前には一冊一冊を手作業で検品し、細部に至るまで品質管理を行う。これこそ私たちの誇りであり信頼の証となります。

こうしたこだわりを前提に、バリエーションや価格設計を明確にし、それに見合う価値(バリュー)を設定することが重要です。そしてアルバムは単なる商品ではなく、新郎新婦にとって一生寄り添う宝物。正しく魅力を伝えれば、結果としてスナップ写真全体の単価アップへとつながります。